

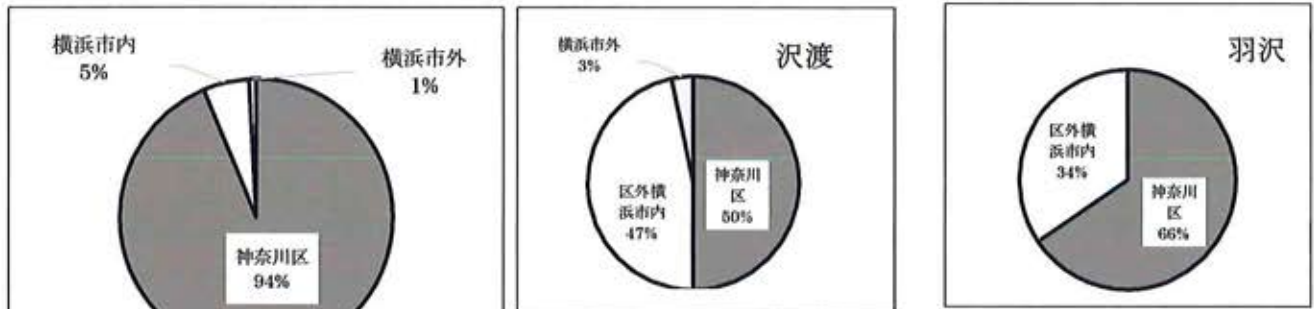
2021年度 かなーちえ利用者アンケート結果

利用者アンケート283人の方(沢渡30人、羽沢29人、東神奈川224人)にご協力いただきました。

2022年2月～4月実施(東神奈川・出張ひろば)

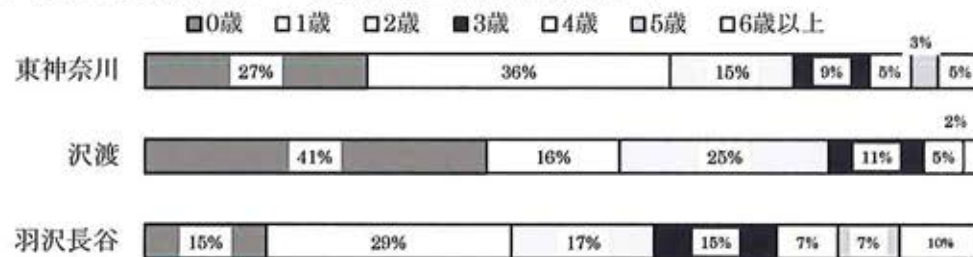
2021年度は、ひろば利用者が延べ38,565人、共催や出前かなーちえで出会った親子は約3,574人でした。昨年度はまん延防止と緊急事態宣言が繰り返す中でも、予約を無くし、できるだけ日常に戻っていました。コロナの感染状況によってはオンライン事業に切り替えるなど環境を整え、更新しながら事業を継続しました。また、ネットワークを活かした公園への出前事業の効果をより強く感じる1年になりました。

1. お住まいの町名を教えてください。



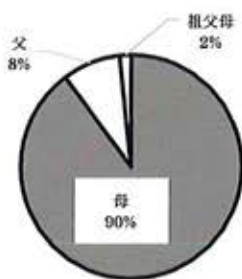
利用者の94%が神奈川区民です。近年のアンケートの結果をみると、コロナの影響なのか、区内の来所者の割合が増えています。出張ひろばでは、他区と隣接しているのかわらず西区、保土ヶ谷区からの利用者も多く見られます。

2. お子さんは何歳ですか？(兄弟姉妹がいる場合は、複数回答可)

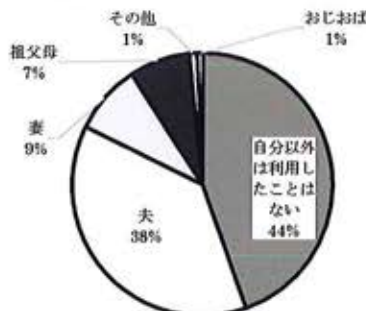


0歳・1歳が東神奈川は63%、沢渡は57%を占めています。昨年度もコロナ感染者が増えた時期に0歳児やマタニティの来所数が減少しました。また、沢渡出張ひろばは、会場の都合もあり、今も予約制(オンライン)になっています。2歳3歳は、外に遊びに行くようになり、近くの公園に集まっている様子が見られました。羽沢出張ひろばでは、水曜日開催なので、午後から幼稚園児が来所する等、様々な年齢の子どもたちが訪れています。

3. あなたとお子さんとの関係は何ですか？

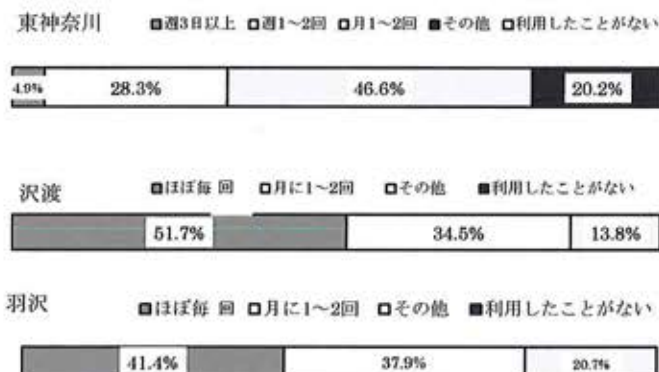


4. あなた以外の保護者の方は利用したことがありますか？

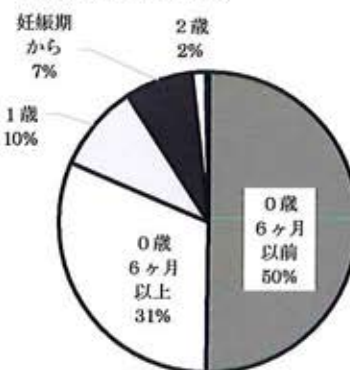


父子だけの来室が特に土曜日は増えてきています。父の子育てトークのプログラムにも毎月10組ほどの参加がありました。また、夫の在宅ワークが増えていることも利用の一つにあげられます。

5. どのくらい「かなーちえ」(各会場)を利用しますか？

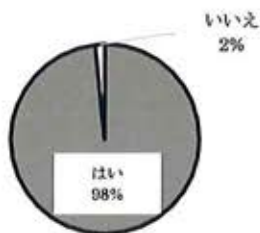


6. お子さんが何歳の時からかなーちえを利用されましたか？

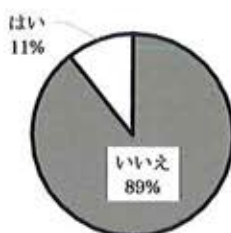


0歳の時からの利用が81%と昨年度より上昇しました。一方、妊娠期からの利用が少し減少しました。0歳児やマタニティの来所が減少してきた時期に安心して利用してもらえるようオンラインプログラムの工夫を試みました。

7. 困った事や子育てで気になる事など
スタッフに話しやすいですか？



8. ひろばの中で、衛生面で気になることがありますか？

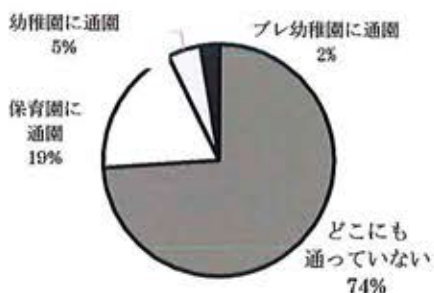


- ・子どもがなめたおもちゃ
- ・おもちゃの消毒
- ・トイレに自由に入れてしまうところ
- ・トイレの床・ひろばの床・毛髪

等があげられました

コロナ感染対策として、午前・午後のひろば終了後には床や手に触れる場所をアルコールで消毒、おもちゃも入れ替えて洗浄しています。

9. お子さんは、平日主にどこで過ごしていますか？

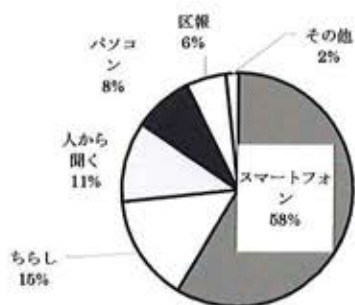


10. 利用の目的は主に何ですか？（複数回答可） 総回答数 709



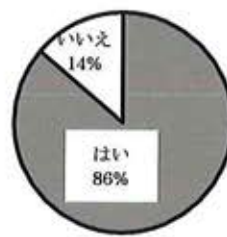
例年通り、1位に「子どもを遊ばせたい」が最も多くあげられます。次に「自分が話をしたり、リフレッシュしたい」「子どもの友達がほしい」が続いています。

11. かなーちえの最新情報はどのように得ていますか？



例年はチラシが多かったですが、今年度はスマホやパソコンから情報を得る人が約60%でした。昨年度新たに開始したInstagramを見てくれる人も増えてきました。今後もひろばの様子を毎日発信していきます。

12. 地域の情報をかなーちえで得たことはありますか？（赤ちゃん学級・かめっ子・子育て支援日・プレイパーク等）



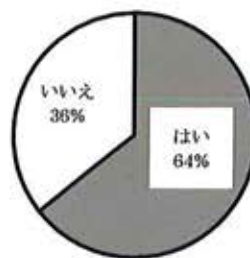
今年度は、区や地域の場が人数制限はあるものの、再開となりました。最新情報は区のHPやかなーちえのHPでご確認ください。

13. かなーちえ以外に神奈川区内で親子で過ごす場所はどこですか？（複数回答あり） 総回答数 592



今年も1位は圧倒的に「公園や緑地」でしたが、2位との差は大きく開いています。コロナ禍において野外が主な遊び場になっていることがうかがえます。

14. かなーちえで得た情報で、地域の支援の場へ出かけたことはありますか？



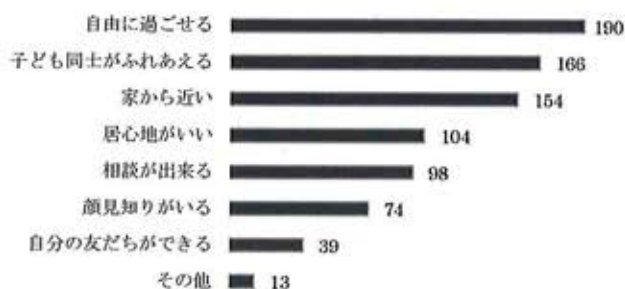
「はい」と答えた人が64%あることから、かなーちえをきっかけに地域の様々な場へ出向いていることがわかりました。

15. 神奈川区内で、参加や利用したことがあるものはありますか？（複数回答可） 総回答数 461

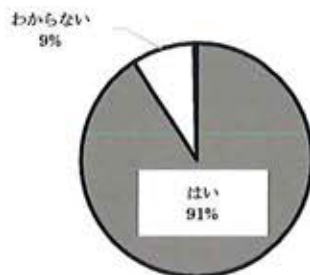


コロナにより開催を見合わせているかめっ子もありますが、例年と変わらず2番目にあげられました。

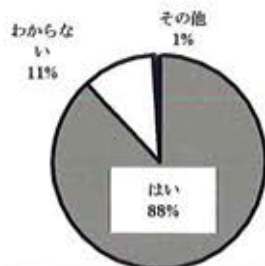
16. あなたにとってかなーちえの魅力はなんですか？（複数回答あり） 総回答数 838



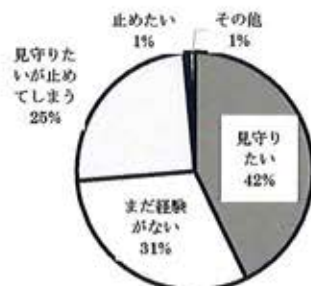
17. 乳幼児期から就学前の活発な年齢の幼児まで、それぞれの育ちを確保できるように遊具や環境など、様々な工夫をしています。ひろばを利用してそれを感じますか？



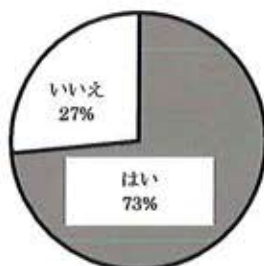
18. 「子どもの育ち・あいうえお」を大切にしています。そのために、大人たちの「お互い様で皆の子どもを互いに見守り合う関係づくりを育んでいきたい」と考えています。ひろばを利用してそれを感じますか？



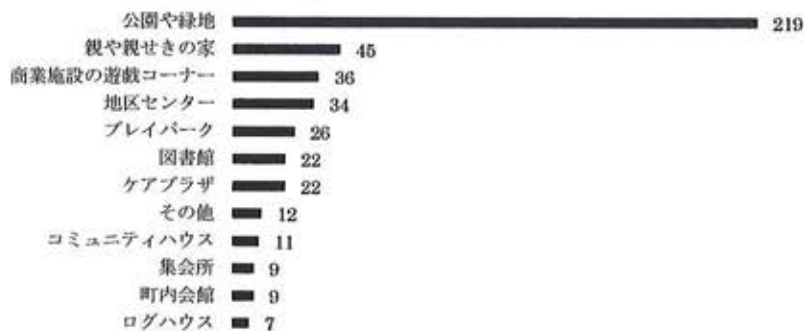
19. かなーちえでは、2歳以上の利用が約4割あり、ケンカなど子ども同士のやりとりが日々見られます。子どものケンカについてどう思いますか？



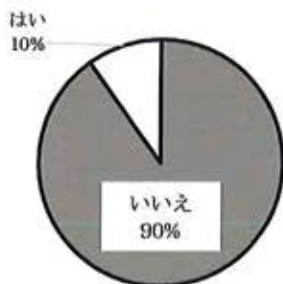
20. 新型コロナウイルスの影響で、子どもを連れて、日中遊びに行く場所は変わりましたか？



21. 最近ではどこに遊びに行きますか？
(複数回答可) 総回答数 452



22. かなーちえではオンライン事業を15回開催しました。参加したことがありますか？



17番の質問に「はい」と答えた人が91%ありました。

コロナ感染予防のため、おもちゃの洗浄や消毒が必要になってきたことで、おもちゃの種類を変えていましたが、状況を踏まえながら、子どもたちが遊べる環境に戻していきました。段ボール、空き箱や新聞紙、色とりどりのビニール袋など素材や、段ボールで手作りしたおもちゃで遊べるよう準備しています。

18番の質問には「はい」が88%、19番の質問には、2歳以上の子ども達のケンカの見守りについて「見守りたい」が42%、「見守りたいが止めてしまう」が25%ありました。親子で体験を重ねながら、子育てに優しい社会に繋がっていけるように、かなーちえでもお互い様で皆の子どもを互いに見守り合う関係づくりを育んでいきたいと考えています。

22番の質問には「いいえ」が90%でした。ひろば利用の人たちは、オンライン企画には参加が少ないことがわかりました。オンラインを通して、拠点には来所しない人たちに会える機会に繋がります。これからも多様な時間を届けます。

♡ 皆さんからの声 ♡

沢渡・羽沢出張ひろばからの声

コロナの影響で、遊べる場所が限られている中、対策をして開いていただいていることがありがたいです。親もスタッフさんや、他のお母さんとお話することができて、リフレッシュさせていただいています。

家の中の遊びには限界があるため、のびのびと遊ばせられて助かっています。

温かい雰囲気の中で自由に子ども達が遊んでいるのが、とてもステキです。スタッフの方達も皆優しく話しやすい方々でほっとします。私は祖母で立場は違いますが、子育て中のお母さんにとって安心して過ごせる場であり、心が開放できる場である様に感じます。

地方から出てきて知り合いがいない中、かなーちえがあることが心の支えになっています。

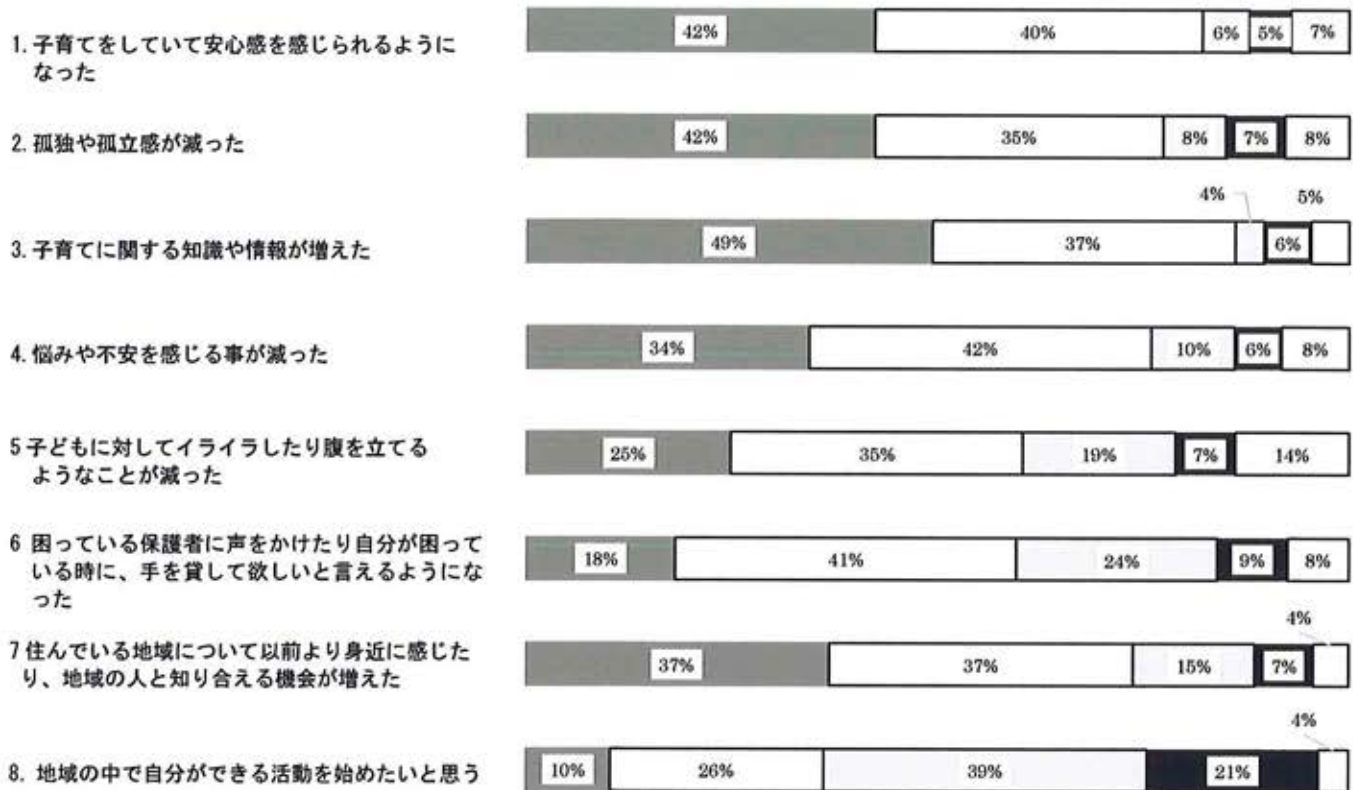
神奈川県でも色々な子育て支援がされていること、初めて知りました。もう少しネットに情報をまとめていただくと嬉しいです。

かなーちえに来て悩みは減りました。子どもも外でも遊べるのでとても楽しんでくれます。

「おたがいさまで迷惑をかけあって育てよう」のキャッチフレーズは、双子の保護者にとって安心感を与えてもらいました。

23. かなーちえを利用して、あなた自身に変化がありましたか？

■ そう思う □ どちらかと言えばそう思う □ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない □ 以前からそうだった



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が、例年より減少していました。しかしながら、親同士の気軽なおしゃべりができる場があることが改めて大事だということがわかりました。昨年とは傾向としてはそれほど変化はありませんが、23-8番は、47%→36%と約10%「そう思う」が減少していました。コロナによって、地域の場に足を運んだり、目にふれる機会が減少しているからではないかと考えられます。



♡ 皆さんからの声 ♡

子育てをしながらでも地域に貢献できることがあれば紹介してもらえると嬉しいです。いつも近所に温かい場所の提供ありがとうございます

ハンモックがお気に入りです。

おうちにはないおもちゃや絵本があって、子どもたちにとって刺激のある時間を過ごせています。

昨年、実家に帰省した際、地元の支援センターを利用しました(都内)、比べてみて、スタッフと利用者の距離、ニーズに合ったイベントの多さ、年齢の広さ、さまざまな点でかなーちえは工夫されているなど感じました。

妊娠期から利用させて頂いています。このような場所が徒歩圏内にあることはとても有難いです。これからも生活リズムをつけさせるためにも、積極的に利用していきたいと思っています。

幼稚園に行く前の子ども達やお母さんが仲間とふれあい遊べる場所があるのはとても良いと思います。おもちゃ類も危険なく楽しい物、手作りの物があるのが良い。

「テキストマイニング」を使って「自由記載」で多かった言葉で選び出し、その値に応じた大きさに図示しています。



コロナ禍にあたり、改めて「つながり」の中で生きていく私たちであることを実感しています。いろいろな身近な「場」は地域の中で、それぞれ工夫を重ねながら続いていきます。皆さんの声が支えになります。声を聞かせてください。♡